

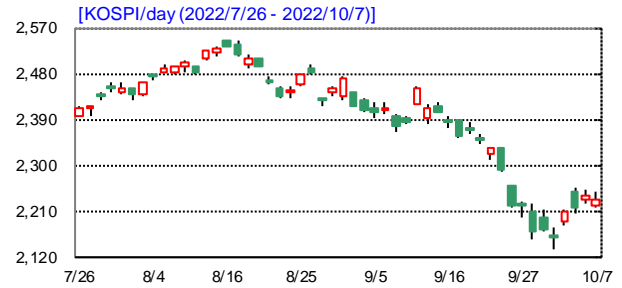


## 【韓国】 総合指数は週間で3.6%高と大幅に8週ぶりに反発、今週は値固めか

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で3.6%高と8週ぶりに大幅反発。10月3日が開天節の祝日で休場のため、4日間の取引だった。世界的に金融引き締めペースが鈍化すると期待から買いが優勢となった。前週末の総合指数は2020年7月以来の安値圏にあったが、休場明け4日に反発して心理的節目の2200ポイント台を回復。翌5日から連騰し、6日終値は9月23日以来ほぼ2週間ぶり高値だった。半導体株の上昇トレンドが続き、相場の上昇をけん引した。7日は4日ぶりに小反落した。今週は心理的節目の2200ポイント台で値固めか。韓国銀行（中央銀行）が12日に10月の基準金利を発表する。5日に発表された9月の韓国CPIの上昇率は2カ月連続で低下したが、市場は韓国中銀の金融引き締め姿勢への影響は限定的とみている。

▼指数チャート

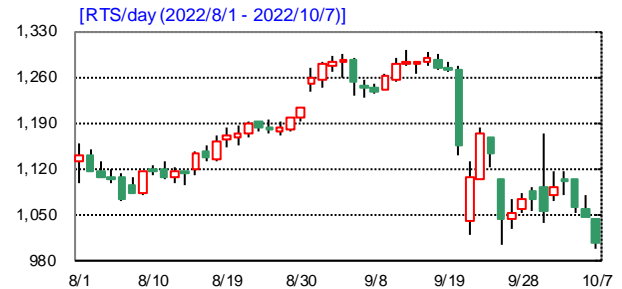


## 【ロシア】 RTS 指数は4.8%安と3週続落、今週も欧米の経済制裁懸念が重しか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で4.8%安と大幅に3週続落。西側諸国による対ロシア経済制裁への懸念が重しとなった。欧米株高や原油高を好感して大幅高でスタートしたが、欧米株が下落に転じたことや新たな対ロ経済制裁への警戒感で週半ば以降に大幅安となった。ルーブルがドルに対して2.5%下落したこともドル建てのRTS指数の重しとなった。指数は週明け3日に3.4%高、4日に0.8%高と続伸したが、5日に3.5%安、6日に1.6%安、7日に3.8%安と3日続落。7日には一時、約6カ月ぶりに1000ドルを割った。個別銘柄では鉄鋼のノボリペツク製鉄所、エネルギーのガスプロムが2桁安となり、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが7.9%、エネルギーのノバテックが6.5%下落した。今週も欧米による経済制裁懸念が重しか。

▼指数チャート



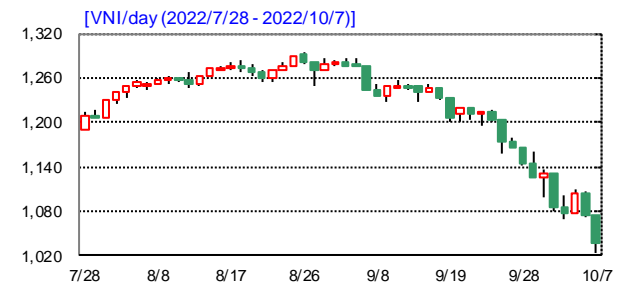
## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で8.5%安と大幅に6週続落、今週は引き続き軟調か

### 調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で8.5%安と大幅に6週続落。先安観が強まる中、海外勢の売り越しも重しとなった。指数は前週の軟調な流れを引き継ぎ、週明け3日が4.0%の大幅安。先安観が一段と強まり、金融株や生活必需品株を中心に幅広い銘柄が売られた。4日に0.8%安と続落すると、5日は海外勢の買い越しを追い風に2.4%高と反発したものの、6日は海外勢が売り越しに転じたことで2.7%安と反落し、7日は3.6%安と大幅に続落。指数は1035.91ポイントと2021年2月1日以来の安値で引けている。個別銘柄ではゴム製品のベトナム・ラバーが20.6%安と急落し、金融のサコムバンクが18.7%安、食品加工のマサン・グループが17.7%安、鉄鋼のホア・ファット・グループが17.0%安と2桁安だった。今週は引き続き軟調か。

▼指数チャート



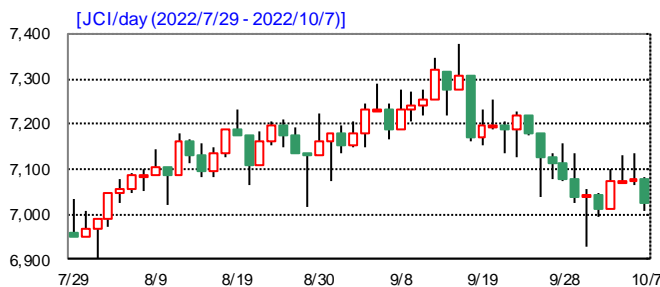


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.2%安、今週は米中の経済動向が焦点**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.2%安と続落。週末の反落が指数を押し下げた。週初の 3 日は 9 月の CPI 上昇率が前年同月比 6.0%と 15 年 10 月以来の高水準となったことなどが売り材料視され、指数は反落。4 日は欧米の長期金利の低下を受けて前日の NY ダウが大幅上昇した流れを引き継ぎ反発すると、6 日まで狭いレンジで 3 日続伸した。ただ、週末の 7 日は前日の NY ダウが 9 月の米雇用統計の発表を翌日に控えた警戒感から続落した影響で反落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、9 月開催分の米 FOMC 議事要旨や米 CPI、中国の貿易統計の内容が指数を左右する展開になりそうだ。

### ▼指数チャート

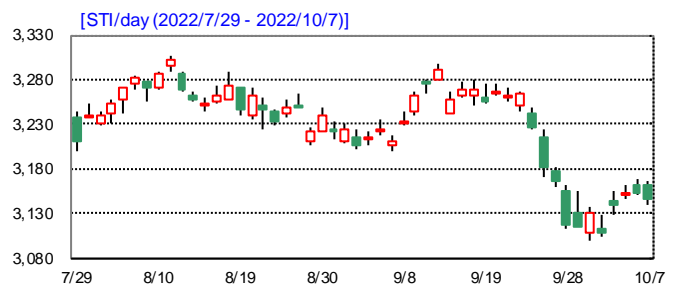


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.5%高、今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値発表**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.5%高と 3 週ぶりに反発。1 週間を通じて 3100 ポイント台でもみ合った。週初の 3 日は、前週末の NY ダウが年初来の安値を更新した流れで反落。一方、4 日は 9 月の製造業 PMI が 49.9 と 20 年 6 月以来の低水準に落ち込んだものの影響は小さく、指数は前日比 1.0%高と反発した。5 日は米国の急速な金融引き締めに対する警戒感が弱まった効果で続伸したが、6 日に小幅反落すると、7 日は 9 月の米雇用統計の発表を目前に控えた様子見で続落して引けている。今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値が発表される予定で、前年同期比の成長率が市場予想の 3.4%を上回れば好材料。

### ▼指数チャート

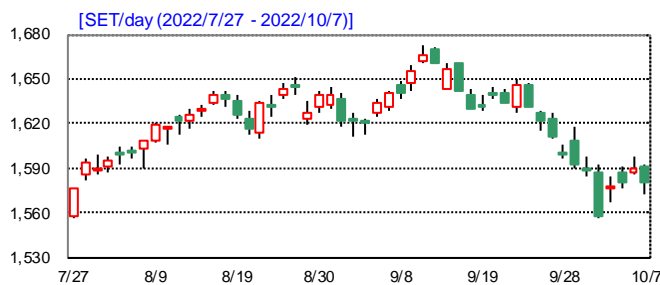


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.6%安、OPEC プラスの減産合意でエネルギー株に買い**

SET 指数は週間で 0.6%安と続落。週末の下落が響いた。週初の 3 日は、前週末の NY ダウが下落した流れで前営業日比 2.0%安と 7 営業日続落。一方、4 日は金融株とエネルギー株が指数上昇をけん引し、前日比 1.3%高と反発すると、5 日は 9 月の CPI 上昇率が前年同月比 6.4%と市場予想を下回ったことが好感されて続伸した。6 日は前日に開催された OPEC プラスの閣僚級会合で日量 200 万バレルの大幅減産が合意され、エネルギー株の一角が買われた効果で 3 日続伸したが、7 日は前日の NY ダウが続落した影響で反落して引けている。今週は 13 日がラーマ 9 世記念日、14 日が特別休日のため休場となる。

### ▼指数チャート

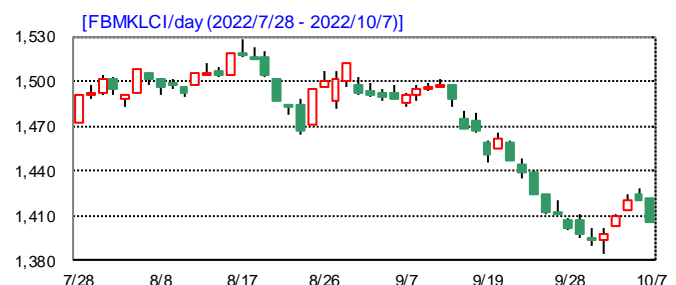


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%高、今週は 1400 ポイント台維持に期待**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.8%高と 4 週ぶりに反発。週末の下落が上昇幅を縮めた。週初の 3 日は前週末までの反動で買い戻され、9 営業日ぶりに反発。4 日に終値で 4 日ぶりに 1400 ポイント台を回復すると、5 日は前日の NY ダウが利上げ減速に対する期待が高まった効果で大幅上昇した流れを引き継ぎ続伸した。ただ、6 日は来年度の政府予算案の発表を翌日に控えた利益確定売りで 4 日ぶりに小幅反落。7 日は予算案の内容が買い材料視されず、指数は前日比 1.0%安と続落して引けた。今週は 12 日に 8 月の鉱工業生産と小売売上高が発表される予定。10 日はムハンマド生誕祭のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。